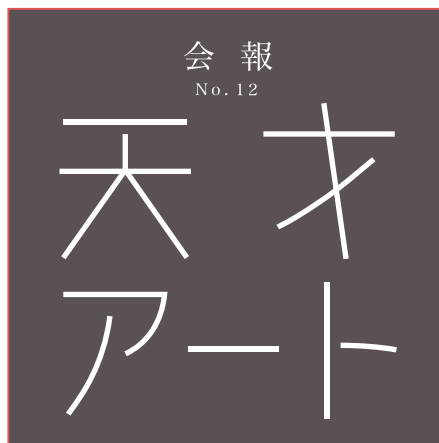




天才アートとは、障碍のある人の多くがもつ優れた感性と表現力、そこから湧き出る独創的なアート作品に対して、特定非営利活動法人 障害者芸術推進研究機構がネーミングしたものです。欧米ではアール・ブリュット、あるいはアウトサイダー・アートなどと呼ばれています。当機構は天才アートを推進し、その啓発活動を行っています。



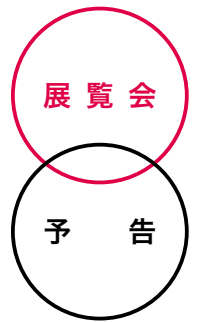
発行日 2016年12月20日（火）
 発行者 特定非営利活動法人
 障害者芸術推進研究機構
天才アート KYOTO
 発行所 〒605-0811
 京都市東山区大和南路四条下る
 4丁目小松町 四条・新道アトリエ
 info@tensai-art.kyoto
 http://tensai-art.kyoto
 編集 株式会社 三六六



『スズメ』 高畠 晃平 Kohei TAKABATAKE クレパス・画用紙 767×1,086mm 2016年

天才アートKYOTO





新年はじめに 「天才アート展in東山」 を開催。

2017年1月14日(土)～22日(日)、「天才アート展in東山」を開催します。会場は東山区総合庁舎1階展示ホールで、開催時間は9時～17時(最終日は16時30分まで・休館日なし・入場無料)。



同ホールでは過去数回、一部を使用した作品展示を行っています。同ホール全スペースを大々的に使うのは今回がはじめてです。

テーマは「花と鳥と動物と」。展示作品は、これらをモチーフにした絵画約40点を予定しています。花、鳥、動物は自然物の形や色彩を象徴して模ししやすい身近な対象です。当アトリエでも数多くの作品が生まれてきます。

東山区総合庁舎は東大路通りに面し、清水坂・五条坂のすぐ脇という好立地で、周辺には人気の観光スポットがたくさんあります。区民の皆さんだけでなく、多くの観光客の方々に天才アートの魅力にふれていただける機会になればと期待しています。



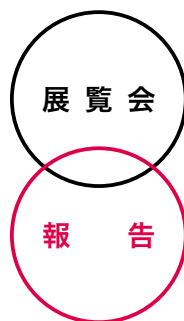
昨年開催した東山区総合庁舎1階展示ホールでの作品展

第3回企画展の概要決定!!

天才アートKYOTO第3回企画展の概要が決まりました!

テーマ…『アンフォルメルとイマジック』
日時…2017年6月1日(木)～11日(日)
会場…堀川御池ギャラリー

当機構の所属作家には、抽象的で非定型、非対称的な形態表現「アンフォルメル」(仏語)



青空美術館at四条烏丸

11月5日(土)午後、四条烏丸を西に入った室町通りの交差点にある「京都経済センタ―」建設工事に伴う囲い塀に「青空美術館の第8号を開設しました。」

四条通に面し、市バス四条烏丸バス停の真正面の壁面に6点の作品画像パネルを展示しています。パネルは縦横1,360×910mmもある大きさで、バス待ちの人や行き交う人の目を惹きつけています。この場所は京都市の中心地でもあり、障壁のある人のアート作品を多くの府・市民や観光客に見ていただ

を続ける人たちがいます。また、常に題名やテーマが先にあつて、その「イマジック」(想像の想像)を描きこんでいく人たちがいます。本企画展では、「アンフォルメルとイマジック」と題して、これらの作家の独特の表現世界を二連の作品と制作記録映像により、わかりやすく展示いたします。どうぞご期待ください。



く機会となるでしょう。

今回の開設にあたり、京都経済センター建設共同事業体である京都商工会議所など京都の経済6団体と京都府・市、建設工事者の大成建設のご協力をいただきました。

天才アート展 2016 & シンポジウム Report

『天才アート展2016 & シンポジウム』を11月3日(木)〜22日(日)の会期で開催しました。

今展では、京都府内のアート制作に注力している障碍福祉就労施設と京都市立総合支援学校、ならびに当機構新道アトリエの作家、計56人の本年度制作の作品を中心に展示しました。作品の内訳は、壁面展示が「絵画」100点、「その他」の4群展示／計149点、立体展示が陶器2群と粘土2・木1・紙2の7群で展示／計329点、と、絵画から立体まで多彩な内容となりました。

来場者のアンケートでも、「才能あふれる作品」や「これまで見たこともないような作品」「最後まで見飽きない展覧会」「年々、作家・作品が進化している」「感動しました」など、多くの方々より高い評価の声をいただきました。

なお、来場者総数は1,649人と過去最高を記録し、1日当たりの平均来場数でも103人と、初めて1000人を超えました。リピーターやファンの方が増えているのが、アンケートや場内での対応からもうかがえます。



京都国際マンガミュージアムでシンポジウム 「マンガとアール・ブリュット」を開催

11月6日(日)午後2時より4時30分まで、京都国際マンガミュージアムのご協力により会場を同館3階の研究室に移し、「マンガとアール・ブリュット」のテーマでシンポジウムを開催しました。

京都国際マンガミュージアム研究員イトウユウ氏より、「日本／欧米のマンガ表現から考えるアール・ブリュット」の切り口で、東西のマンガの有りようとは異相、障碍者におけるマンガ表現への親近性と作品との関連性など、非常に興味深い内容の基調講演がありました。

その後、「家庭、制作現場からの発信」をテーマにパネルディスカッションを行いました。作家たちが制作活動をしている中、マンガやアニメとの関係性はどの程度あるのかなど、家庭や制作現場で日々接している家族や社会福祉施設の職員より意見が出されました。また、会場の作家や家族からも貴重な発言がありました。

結論として、多くが幼少期より当たり前のようにマンガやアニメに接しており、影響を与えているように見えるが、実際には「作風やタッチは主體的」であり、幼少期に真似たりする場合があっても、自ら消化して「独自のタッチ」に変化させている、などが提言されました。会場の作家本人の発言もこれを首肯するものでした。

今回のテーマは恐らく日本でも初めての試みであり、アンケートでも「初めて聞くお話

し」で「大変興味深く面白い内容」「ぜひこの続きをまたしてほしい」などの声が多く寄せられました。

今後も、さらに充実した展覧会やシンポジウムを企画してまいりますのでどうぞご期待ください。なお、開催にあたり、共催、後援、協賛、助成ならびにご協力をいただきました関係機関には、本紙面を借りましてあらためて感謝を申し上げます。



トピックス

レポート

文化庁京都移転を契機に 「チーム京都」 結成に参画

京都市は「まち・ひと・とこ」京都創生」を掲げ、市民と連携して文化芸術活動を推進しています。

このたび文化庁京都移転を契機にその一環として「ひとごとではなく、自分ごと、みなごと」として、京都の「まちづくり」に参画する市民による組織（チーム京都）が結成されました。

市内を拠点に文化や芸術に関わる団体などから10名が京都市の呼びかけで参画し、障害者の芸術活動を推進する当機構もその



京都新聞 11月5日朝刊

一員として加わるようになりました。他の構成メンバーは、未生流笹岡の笹岡隆甫氏、合気道無限塾のリン・ボン立命大教授、NPO法人・劇研の杉山準氏をはじめ7団体が参画しています。

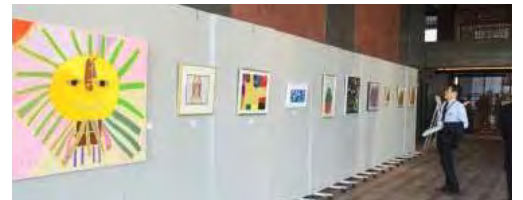
11月4日、京都市役所で門川市長の出席のもと、「チーム京都」の結成式と第二回の会合が開かれました。会合ではそれぞれの活動の立場から提案や意見が活発に述べられました。当機構の高島理事長からは、「文化都市・京都にふさわしく、随所に障害者芸術の展示施設を設けてはどうか」と提唱し、賛同されました。

今後は多くの市民の参画を募り、市民運動にまでひろがることを目指し活動してこうと確認して閉会しました。

「文化庁京都移転・私たちが ができること推進チーム」 活動紹介で作品展示

平成28年11月12日（土）、ロームシアター京都で開催されたシンポジウム「京都から、日本の未来を展望する」において、「文化庁京都移転・私たちがができること推進チーム」の活動紹介として、天才アートKYOTOの作品展示とミュージアムショップを出店しました。

シンポジウムには市民の皆さまのほか560人が参加されました。講演前後や休憩時間に、会場前のホールに展示した作品



会場前のホールに展示した作品

を興味深く見入っている方がたくさんいらっしゃいました。また、作品をデザインしたポストカードやクリアファイルなど、「綺麗な配色」「ユニークなモチーフ」と感想を述べられながらお問い合わせいただきました。

洛和会音羽病院に 『天才アートギャラリー』 を常設

9月25日（日）、洛和会音羽病院（山科区）内に複製画を展示する『天才アートギャラリー』



『天才アートギャラリー』の作品に見入る患者さん

が開設されました。病院内に障害者芸術がまとまって恒常的に展示されることは全国的にも珍しく話題を集めています。

展示場所は本館一階受付ロビーに続く廊下10メートルで、展示複製画は9点です。いずれもレンタル方式で二年毎に入れ替えられます。『天才アートギャラリー』は、洛和会

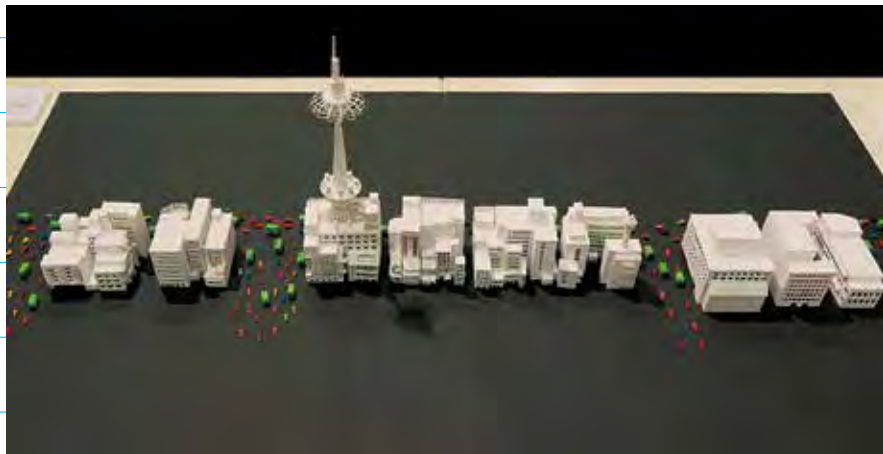
ヘルスケアシテムの全面的な支援で実現しましたが、当機構はレンタル料収益金の一部を著作権料使用料として作者に還元します。展示された作品がもつ豊かな色彩や細密な描画、ユーモラスな動物たちに患者や関係者の方々は興味をもたれたようで、どこか心が癒されるという感想も聞かれました。

楠川敦士さん、公募展入選 ビッグ・アイアートプロジェクト2016

当機構所属作家の楠川敦士さんの作品「夢をのせて」が、応募数1,392点（日本1,135点、海外11カ国・地域257点）の中から、「入賞」作に選定されました。入賞作品60点の巡回展『共振×響心』が2017年の春以降、大阪・東京・横浜で順次開催されます（日程・会場は後日ビッグ・アイのHP上で発表されます）。



入選した楠川敦士さんの「夢をのせて」



「Paper city jewel in KYOTO」紙・水彩 2016年

Takeharu Kato 1974年生

加藤が、制作に本格的に取り組み始めたのは20歳を過ぎてからである。陶器の作品はかつて通っていた施設で焼いたものである。紙の立体作品は自宅やアトリエでの制作が中心である。彼は、初めに明確なテーマとイメージがあり、「丹念」と「集中」の中、繊細・微細な意匠のパーツを作り、「作品」を組み上げていくのである。

加藤 武晴

TENSAI ART NOTE

天
オ
ア
ア
ノ
ー
ト



「フクロウ」2015年



「太陽と水は同じですね。そう思うのは自由ですね。」画用紙・ペン 2016年

Wataru Maeda 1977年生

前田は、自分の中に湧き出るイメージを画面に黒一色で表現し続けている。人・いきもの、さらに自然界の事象・事物などさまざまなものを題材に描き、描き終わると必ず自分でタイトルを付ける。いや、タイトルのイメージが先にあって、一気に描き上げていくという方が正しいかもしれない。

前田 笑弥



「WILD LIFE」画用紙・ペン 2016年



「少女とミミズク」画用紙・ペン・色鉛筆 2016年

刈谷 歩



「少女と精子の花」画用紙・鉛筆 2016年

Ayumi Kariya 1995年生

刈谷も、イメージやタイトルが先にあって、あとは迷うことなく描いていき、必ずタイトルを付ける。画中の少女は妖しげだが、何か寂しさのようなものも漂わせているように見える。自身を重ねて描いているのか尋ねると少し微笑むのみである。

発達障害啓発週間 in 花園大学（4月1日〜12日）基調講演より抄録

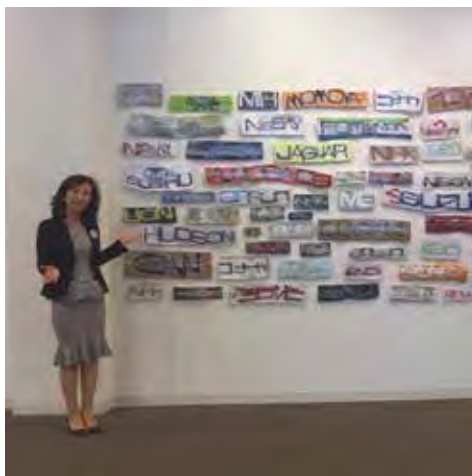
自閉症のわが子・晃生から生まれた ロゴアート（後編）

富田 千果子（当機構理事）

●ロゴアートの原点

私の長男晃生は、一歳六カ月の健診で医療機関を紹介され自閉症と診断されました。早期療育を始めるため、二歳から未就学児の通園施設に通いました。幼児期の母子関係を大切に考える施設で、私も一緒に施設で過ごす日が定期的にありました。その頃は、ブロックやアルミホイルなどを使って好きなロゴを作っていました。また、磁石の力でスクリーンに絵が描ける「おえかきせんせい」やクレパスなどでロゴを描くこともありました。

五歳のときに「HOTEL」と描かれた作品が施設に貼ってありました。教えたこともコマースヤルでも覚えのないロゴでし



た。後になって分かったのですが、ドラマのタイトルで、エンディングに流れていた「HOTEL」のデザインを忠実に模倣されたものでした。しかもその「HOTEL」は、出演者の名前や番組のワンシーンが流れる間に挟まれ、フラッシュして出てくるロゴでした。インパクトがあつて画像が頭の中に残つたのだと思います。五歳で英語が書けるならば知的レベルが高いと思われるが、気が入つたロゴや文字は映像として残る脳の機能なのです。

オリンピックの五輪も幼い時から五色の輪の位置は間違えません。文具店などでの五色のビニールテープを見つけると、上段三個下段二個の形に器用に持つて五輪のマークを必ずと言つていいほど作ります。作らずにはいられないのだと思います。そうした衝動が、ロゴアートにつながっているのだと思います。

●シングルフォーカスと創造行動

自閉症の方は、予期できない変化や変更を受け入れることに大変苦労されることが多いのです。言い換えれば、変わらないものの・ことが安心なのです。晃生がロゴを好むのも変わらないものの一つであるからかもしれません。また晃生の場合、文字の形



ロゴアート作品を展示する晃生

の認知から考えますと、形状が複雑な漢字の模写が一番苦手です。順にひらがな、カタカナ、アルファベットと、アルファベットがより正確に表現されています。認知し易いことが即ち心地よいものとなつているのかもしれない。晃生のロゴアートにはアルファベットのものが多いです。そして、心地よいもの、気になるものなどに気持ちが集まったり、熱中したりして、他のことが入らなくなることがあります。これを「シングルフォーカス」と言います。

発達障害のある方にもある特性で、学習面で細かいことに気をとられてスムーズに進められないとか、次の活動に切り替えられないとか、全体の結びつきを理解しにくいなどの行動の原因として挙げられています。「シングルフォーカス」を検索しますと、自閉症スペクトラムや発達障害のある人を支援する方へ、正しい理解と支援のあり方に注意を促す目的から、その特性が、学習面や集団生活において、弊害になる原因と紹介されています。ですが、晃生のロゴアートは、シングルフォーカスの特性か

ら生まれる芸術なのです。晃生だけではなく、障害のある方の芸術作品の素晴らしさは、その特性があつてこそではないかと感じます。

●気分やこだわりで変化する作品

晃生の心地よいものは、まれに刺激が強すぎて、不快なもの、恐いものに急変することがあります。また、好きで熱中しすぎて、終了させるタイミングを決められず、不快に陥ることがあります。頃合いを見て調整することが苦手なのです。晃生のロゴアートは、モチーフはロゴであり、材料は厚紙とセロハンテープです。その作品が出来る上がる工程はほぼ同じで、繰り返しリズムが見られます。ですが、その時の気分や、気になる部分にこだわって、さまざまに仕上がります。分厚くテープが巻いてある作品は、気分が乗って巻いているとは限りません。うまくいかなくて巻き続けるときもあれば、大事に何度も巻くときもあるようです。

安定させたい一心で制作することもあります。

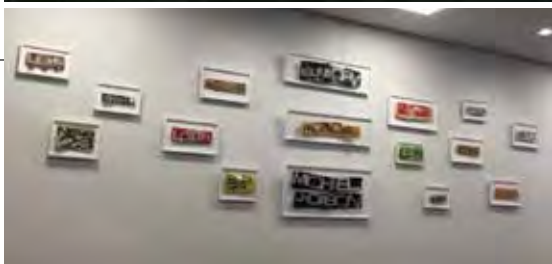
ロゴ作りが好きだからと言つても、セロハンテープを大量に使う



行為は、療育の現場でこだわりから起こる問題行動と捉えられるケースもあるのです。実際、ロゴづくりのこだわりを制限される環境に置かれて、全く制作しなくなってしまう期間がありました。一方、芸術の世界では、晃生がどんな気分で、またどんな状況で制作していても、完成した作品を観て面白いと感じてくださることが、私にはとても新鮮でした。芸術は晃生の人格をそのまま受け入れてもらえる世界なのだとうれしく思いました。

●ロゴアートで伝わる世界

晃生が作るロゴは、好きなコマースナルを再現し、それを眺めて楽しむためのものでした。晃生は、ある日を境に全く制作しなくなりましたが、天才アートKYOTO（当時は天才アートミュージアム）の芸術



手作りのフレームに収められたロゴアート作品

活動に参加するようになり、五年ぶりにロゴを作りました。天才アートの名付け親でもある前理事長でデザインが専門の松谷先生に「これ面白いね。カッコイイよ」と言われましたが、ピンときませんし気恥ずかしいだけでした。しかし、晃生の作ったロゴを手作りの額に飾った瞬間にアートになりました。ロゴアートの誕生でした。作品展で楽しんでくださる方々が増えていきました。

初めて出会った方に晃生を紹介するときは、自閉症の障害を説明することから始まります。初めての出会いが晃生の作品であるとき、晃生はロゴに魅力を感じる青年であると知ってもらえます。晃生の世界観を、ことばではなく、ロゴアートから感じてもらえる喜びを私は初めて体験いたしました。芸術は晃生のありのままを受け入れてもらえる世界です。晃生の楽しむ世界を視覚から共有

できるロゴアートを私は大切にしていきたいと思うのです。また、他のアーティストも同様に、作品を介して、アーティストのそれぞれの感性をありのままに感じ、アーティストの世界観を楽しみ尊重したいと思うのです。

障害者アートミュージアムKYOTO 設立支援基金をスタート!!

天才アートKYOTOでは、文化都市・京都にふさわしい障害者の芸術作品を常設展示するミュージアムを設立し、広く社会に向けた情報発信の核となる施設とする計画を進めています。このたび、この計画に賛同して支援する「障害者アートミュージアムKYOTO設立支援基金」を募集致します。一口3万円の寄付をしていただくと、お礼に天才アートKYOTOの作品の複製画（額装）をプレゼントします。

この複製画のコストの一部は、「著作料」として障害のある作家に還元され、コストを除く残金がミュージアム設立支援金に充てられます。趣旨にご賛同の上、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

複製画は、高精密なジークレー印刷により、原画とまったく変わらない忠実さで再現されています。しかも、1500〜2500年の高い保存性があります。額縁は黒色塗装の木製で、サイズは四つ切（348×424ミリ）です。

複製画は10作品の中からお選びいただけます。

支援基金の募集は、平成29年1月からスタートの予定です。詳細やお申し込みは、ホームページをご覧ください。

<http://tensai-artkyoto>

複製画の一部です。詳しくはホームページをご覧ください。



スーパー羊Ⅱ



エゾフクロウ



宇宙人の宇宙船

会員・寄付の募集

天才アートKYOTOは、障碍のある人のアート制作を推進するために、さまざまな活動を行っています。その趣旨に賛同していただける会員を募集しています。会員は、「正会員」「賛助会員」「名誉会員」の3種類。また、寄付金や助成金などのお申し込みも随時受け付けています。

詳しくはホームページに掲載しています。お手続きもインターネットで行えますので、ご協力をよろしくお願い致します。
http://tensai-art.kyoto

ボランティアさん募集

障碍のある人のアート活動を推進するために、作品を創る環境を整え、作品のアーカイブ（記録・保存）や作品を商品デザイン化するアイデアを出す…など、サポートしていただけることはたくさんあります。アートを勉強中の学生さん、さまざまな分野で活躍されている社会人、社会貢献に興味のある方、特技やノウハウを活かして、私たちの活動にぜひ参加してください。詳しくは、<http://tensai-art.kyoto>をご覧ください。

最新情報はFacebookで

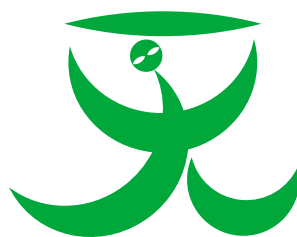
アトリエ会の情報やイベント参加情報は、随時Facebookページでお知らせしています。ぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/tensai.art/>

シンボルマーク変更のお知らせ

設立5周年を過ぎ、天才アートKYOTOは、次のステップに進む決意を込めてシンボルマークを新たにしました。今後、ブランド確立を目指して、さまざまなシーンに展開していきます。

天才アートKYOTO



会報 広告主募集中!

『会報 天才アート』は、天才アートKYOTOの活動をはじめ、所属作家の作品紹介、アール・ブリュットに関するコラムなどを掲載しています。発行部数は3,500部で、会員・協賛団体、関係機関、各地の美術館、京都市内の大学や主なギャラリー、カフェなどに配布・配架をしています。当機構の活動にご賛同いただける企業様のご協力を、ぜひともよろしくお願い致します。

1枠…1万円（4回掲載）

●お問い合わせ・お申し込みは、
info@tensai-art.kyoto まで

Kuretake

京都上鳥羽の
印刷会社

MORIYA
(有)森田美術印刷

京都市南区上鳥羽火打形町12 ☎ 075-692-3131



吉村建設工業(株)

京都市中京区西ノ京小倉町135番地
075-802-1360

発展、ともに前へ…
洛和会ヘルスケアシステム®

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院 洛和会音羽記念病院
洛和会音羽リハビリテーション病院 洛和会東寺南病院



季節の味わい、心を包む
京都・東山八坂烏居前下河原
075-551-0035

各種印刷/アニメーション仕上げ
福祉工房 P&P

明治安田生命

京都支社
京都市中京区烏丸通御池上ル二条殿町 552
075-241-4811

画材・額縁
画箋堂
京都・河原町五条

一級建築士事務所
町家・古民家再生 / マンション改修
(株)共立ホーム
エンジニアリング
06 (6788) 5402 kap@hyper.ocn.ne.jp

妙心寺 塔頭
養徳院
永代供養のお寺 075-461-2898

〈編集後記〉

2011年8月に設立・認可された天才アートKYOTOは、本年度丸5年を過ぎ、6年目も中盤に差し掛かろうとしています。その間、「天才アート展」に加え、企画展や「天才アートがやって来た展」などの展示会をはじめ、「青空美術館」や作品のデザイン化など、府市民の皆さんに障碍者アートを知っていただき、支援していただけるための活動を積極的に進めてきました。

くしくも京都への文化庁移転のモデル事業として、「文化財やマンガ・アニメの観光振興への活用」などとともに「障害者の芸術活動の振興」が想定されています。これを追い風と捉え、もっと広くもっと深く、もっと多くの活動を具体化させ、天才アートKYOTOの認知度を高める努力をしていきます。

まずは、新年早々スタートする「天才アート展 in 東山」を皮切りに、2017年もさまざまな活動を展開していきます。来年もどうぞよろしくお願い致します。

【表紙の作品について】

高畠は、全紙大の大きな画面にクレパスや色鉛筆で迷うことなく描き、画面から絵があふれそうになると紙を継ぎ足し、また描いていく。そのタッチは、まるでこすりつけるように力が入っているが、仕上がりと思えない生命感があふれる。



『スズメ』高畠 晃平 Kohei TAKABATAKE
画用紙・クレパス 767×1,086mm 2016年